ふるさと研究ニュース

2010 年 4 月 第 10 号
所沢市生涯学習推進センター
ふるさと研究グループ

「ふるさと研究活動」は、子どもからおとなまで、幅広い世代の市民のみなさんの参加により、ふるさと所沢の自然・歴史・芸術・文化・産業など、様々な分野の資料や情報を集め、調査・研究を深めてゆく活動です。「所沢のことをなんでも知りたい！」方のご参加をお待ちしております。

ふるさと研究グループ 平成22年度事業 のご案内

昨年 6 月にオープンした、生涯学習推進センターでの**ふるさと研究活動**も 2 年目を迎えました。今年度の企画展示室では、夏季に国際生物多様性年にちなんだ「身近な生きもの」展を、秋には所沢市市制 60 周年記念展を、冬には航空発祥 100 周年の記念展示を開催します。

8 月には「ところざわ星空フェスティバル」と題して、8 月 28 日と 29 日の 2 日間に「天体民俗学講座」や「さわれる天体写真展」などの催しを実施します。また、9 月には、郷土の歌人、三ヶ島葭子に関わる講演会を実施します（会場は三ヶ島公民館）。

好評のふるさと研究講座「入門　所沢市史」は、今年度は第 3 期目となります。「ふるさと研究」の入門編の講座ですので、未受講の方はふるってご参加下さい。さらに進んだ講座として、同講座の“探究編”や、「世界遺産」ならぬ「所沢世間遺産」を歩く街歩き企画を予定しています。

ご紹介した内容については、名称や実施時期が変更になることがあります。詳細については、本紙または「翔びたつひろば」での続報をお待ち下さい。

6月中旬～7月下旬	ふるさと研究講座“探究編”（**ふるさと研究修了証対象講座**）
7月下旬～8月下旬	夏季企画展「身近な生きもの」展
8月28・29日	ところざわ星空フェスティバル
9月26日	三ヶ島葭子資料室講演会（会場：三ヶ島公民館）
10月中旬～11月中旬	秋季企画展「所沢市市制施行60周年記念　ところざわ60年」
3月中旬～	冬季企画展　航空発祥100周年記念展
（開催時期未定）	市民学芸員養成講座（**ふるさと研究修了証対象講座**）
	ふるさと研究講座「入門　所沢市史」（第3期）（**ふるさと研究修了証対象講座**）
	ふるさと街歩き「所沢世間遺産を歩く」第1回（**ふるさと研究修了証対象講座**）

４月にご覧いただける展示など

場　所	内　容
常設展示室	所沢の歴史・まゆの七変化・自然など
メモリアルルーム	並木東小学校の「記憶」
南棟3階階段脇掲示板 **ミニ写真展**	**柳瀬地区の移り変わり** 4月12日(月)まで **吾妻地区の移り変わり** 4月13日(火)から
3階中央棟廊下壁 **今月の航空写真**	狭山ヶ丘駅周辺 4月30日(金)まで

所沢市生涯学習推進センター　ふるさと研究グループ
Tel:04-2991-0308　Fax:04-2991-0309　Mail:b29910308@city.tokorozawa.saitama.jp

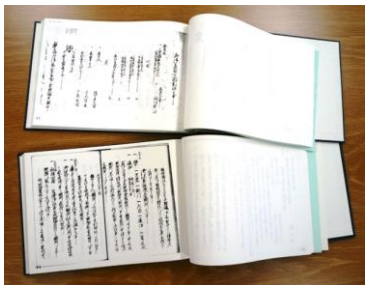
閲覧学習室を利用してみませんか？

その４ 市史と出典（後編）

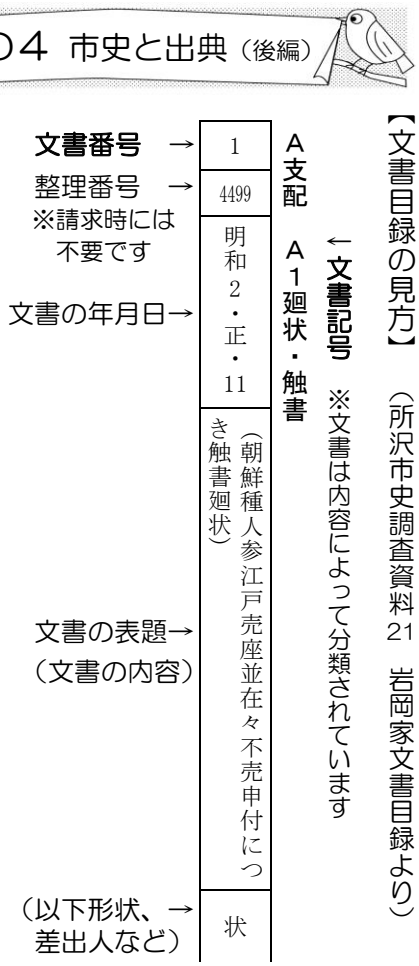
前回に引き続き、今回は『所沢市史』の一歩進んだ使い方についてご紹介します。前回は、『所沢市史』などの記述から、出典となる文書を探して文書目録を見るところまでご案内しました。

文書目録に載っている文書は、一部を除きマイクロフィルム等に撮影されており、閲覧学習室では複製本の形で見ることができます。すべて閉架扱いなので、事前に目的の文書を特定する必要があります。よくわからない時には職員にご相談下さい。

利用したい文書の「所蔵家」「文書記号」「文書番号」を控えておき、閲覧学習室で「資料閲覧申込書」に記入していただくと、書庫から該当の複製本が出納され、晴れて文書の中味を確認することができます。複写を希望される場合には別に「資料複写申込書」の記入が必要になります。ただし、複写が許可されないものも一部あるのでご注意下さい。



閲覧学習室の利用にあたっては、職員が常駐していないため、４階研究室（事務室）の職員までお申し出下さい。事前にお電話などで開室の時間を予約することもできます。



熱海温泉の湯

ふるさと研究市民トピック vol.10

所沢は、江戸～明治期に流通の拠点として栄えました。そのなかで、特に川越と江戸（東京）浅草を結ぶ新河岸川の舟運（川越舟運とも呼ぶ）を利用した物品の輸送が活発でした。所沢は、水子河岸（富士見市）や引又河岸（志木市）の繋がりが強く、そのため水子道や河岸街道が発達しました。

江戸から地方へ運ばれる物は“下り荷物”といい、農産物や材木等が主であったといいます。また、逆に地方から江戸へ運ばれる物を“上（あが）り荷物”と呼び、肥料や石材等を主としていました。

このような輸送形態も、明治時代に入り鉄道が敷かれるまでは続いていました。そのなかで、変わった下り荷物として熱海温泉の湯を樽詰にして運んだことが知られています。川越に近い牛子河岸の問屋で扱っていた記録によると、明治11年（1879）の帳簿に「所沢近村」へ6樽を運んだ記録があります。

また、熱海の湯宿の出荷帳には、明治20年から3年間の温泉注文者の名前が記されています。所沢関係では、所沢町の町田家と油屋勘右衛門がそれぞれ4樽と5樽、三ヶ島村の守谷家が14樽、森田家が1樽、富岡村の小高家が3樽、小山家が1樽とあります。三ヶ島村の守谷家は他家より量が多く目立ちます。三ヶ島地区には、古くから「ゆば」と呼ばれる家があったことが知られていますが、あるいは熱海温泉の湯を楽しんだ場所だったかもしれません。（参考文献；斎藤貞夫著『川越舟運』）

所沢市生涯学習推進センター　ふるさと研究グループ
Tel:04-2991-0308　Fax:04-2991-0309　Mail:b29910308@city.tokorozawa.saitama.jp